

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		区体力づくり推進助成事業			事業区分		担当	
					新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	020401000067
政策体系		政策体系上の位置付け					所属課	090501
総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興					課長名	スポーツ振興課
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり					グループ	スポーツ振興G
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興					担当者名	
手段名		01 ①スポーツをする機会の充実						
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	06	01	02	00	単年度繰返し (平成18年度~)	
							保健体育総務事業	
法令根拠							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
桜川市区体力づくり推進事業補助金交付要項								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) (事業の目的) 体力づくり (スポーツ) を通じて、行政区内の住民の親睦を図り、三世代の交流により各世代間の理解・融和を図ることを目的とする。 (事業の内容) 各行政区が歩け歩け大会やビーチボール・輪投げ大会、ソフトボール大会、その他体力づくりを生かした事業等、親睦や交流を兼ねたイベントを実施した場合に桜川市区体力づくり推進助成事業補助金交付要項の規定に基づき、補助金を交付する。交付申請は年1回。補助額は補助対象経費の1/2以内、30,000円を限度とする。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 事業内容を市広報紙に掲載し、事業の市民への周知を行う。 補助金交付申請受付→交付審査→決定通知交付→実績報告書の受理→補助金の交付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
年度当初の市報「おしらせ版」に事業のお知らせを掲載し市民への周知を行う。	参加地区への内容説明回数	地区	1.00	2.00	17.00	17.00	17.00
	補助金の交付団体数	地区	1.00	2.00	5.00	7.00	10.00
申請受付→交付審査→決定通知交付→実績報告書の受理→補助金交付			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
行政区	行政区数	地区	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
スポーツを通じた三世代間の交流により地域住民の親睦と融和、体力づくりを図る。高齢者の孤独化・孤立化を防止する。	実施団体数	団体	1.00	2.00	5.00	7.00	10.00
	合計参加人数	人	90.00	180.00	450.00	630.00	900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	30	60	510	
		事業費計 (A)	千円	30	60	510	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)	
18 負担金補助及び交付金	60	18 負担金補助及び交付金	510
合 計		合 計	
	60		510

事務事業名	区体力づくり推進助成事業	事務事業No.	20401000067	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・旧真壁町に区体育委員制度があり、その区体育委員会の会議の中で事業内容について協議がなされスタートした。各行政区では、区長・区体育委員・地区役員が中心となり、スポーツを通じた三世代間での交流が図られてきた。 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・最近、近所に住んでいても顔を合わす機会が少なくなってきている中で、小さい子どもから高齢者までが一緒に集まれるのが嬉しい。 ・事業内容について、分かりやすい、PRをして市全域で実施するぐらい推進して欲しい。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 各行政区において、スポーツを通じた三世代間の体力づくり交流事業を行うことにより、地域住民間の親睦と融和を図るとともに、地域住民が明るい豊かな生活を送ることにつながる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である スポーツを通じた三世代間の体力づくりや地域住民間の親睦と融和を図る各行政区単位での事業が、地域住民が明るい豊かな生活を送ることにつながっており、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・市全体の行政区単位での事業を対象にしているが、実施する行政区は減少傾向にある。事業への理解のための周知が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・行政区内で、スポーツを通しての三世代間の交流の場が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・地区の三世代による、地域住民の親睦交流について他に手段が見当たらない。	
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・事業費は全行政区を対象としている。1団体への補助金の額は妥当である。 ・人件費については、各行政区で行われる事業に対する補助金交付に係る事務のみであり、削減余地はない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全行政区を対象としており、一部の受益者に偏っていることはない。全額負担ではないため、実施団体にも負担してもらっている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・市全体の行政区単位での事業を対象にしているが、実施する行政区は減少傾向にある。 ・区体力づくり推進助成事業が、少子高齢化の進展及び地域での交流が希薄になっていく中、体力づくり(スポーツ)を通じた地域交流・世代間交流の契機となっており、高齢者の孤独化・孤立化の防止にもつながっていると思われる。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域意識の希薄化、世代間交流の必要性、体力と健康のためにも、市役所生涯学習課との連携を進め、集落三世代間の交流に対する助成金の交付も検討する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>